

1. 科目名 (単位数)	心理検査法演習 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3354
2. 授業担当教員	緒方 二郎		
4. 授業形態	演習およびグループワーク	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学や心理査定に関する授業を履修していること		
7. 講義概要	心理臨床の現場でよく使用されている主な質問紙法検査や投影法検査等の理論、実施方法、結果の解釈について学習する。自らが心理検査の実施者と被検者の役割をとることによって、心理検査の目的、特徴、有効性や限界について体験的に学ぶとともに、他のアセスメント方法とも合わせて総合的に事例を理解できるようになることを目指す。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理検査の種類・特徴および長所・短所を理解し、説明できるようになる。 2. 心理検査の実際を体験的に学び、使用できるようになる。 3. 心理検査の結果からのアセスメントができるようになる。 4. 心理検査における心理臨床の倫理について理解し、説明できるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	各心理検査を実施する度に、検査結果とその解釈をまとめるよう求めるのでやや宿題が多いです。科目終了時には、授業で実施した質問紙法と投映法の心理検査の中から2つ選び、それらの結果をまとめ、総合所見を書いて提出するレポートを求める。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】なし</p> <p>【参考書】・願興寺礼子・吉住隆弘(編) (2011) 心理検査の実施の初歩 (心理学基礎演習). ナカニシヤ出版 ・カールコッホ (著)・岸本寛史・中島ナオミ・宮崎忠男 (訳) (2010). バウムテスト 心理的見立ての補助手段としてのバウム画研究. 誠信書房 ・名古屋大学ロールシャッハ研究会 (編) (2018). ロールシャッハ法解説 名古屋大学式技法. 金子書房 ・高橋依子・津川律子 (編) (2015). 臨床心理検査バッテリーの実際. 遠見書房</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に熱心に取り組み、積極的に発言・発表をしたか。 2. レポートは、演習・検査を踏まえて、要点を分かりやすくまとめる力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講態度・参加姿勢 総合点の 30% 2. 実施した演習 (心理検査) ごとのレポート 総合点の 40% 3. 科目終了レポート 総合点の 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>心理検査は自己理解を促し、自己成長にも繋がっていく非常に有用なものです。しかし扱いを間違えると逆に有害になることもあります。心理検査を行う者が備えておくべき倫理や実施の注意点、結果の返し方などを強調して授業を行っていきます。医療現場でよく用いられている心理検査を中心に、どのような対象に、何のために検査を行い (目的)、どのように分析し (観点)、どんな風に結果を返していくのか、心理アセスメントの一連の流れを意識して授業を受けると良いと思います。ワークやディスカッションを多く行う授業です。検査はなるべく学習できるようにしていきますが、状況によっては事例を検討する内容になったり、順番が入れ替わったりする可能性もありますので、その都度連絡します。少し予習・復習が大変ですが、重要な分野です。負担はできるだけ少なくしますので一緒に頑張りましょう。</p> <p>授業態度に関する加点・減点の具体的内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。 2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 携帯電話・スマートフォンの授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) を慎むこと。 		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 心理学における検査法とその倫理	事前学習	各種心理検査について調べておくこと
		事後学習	心理検査における倫理についてまとめておくこと
第2回	心理検査を実施するという事 目的と観点、その留意点	事前学習	心理検査を実施する上での注意点について調べておくこと
		事後学習	授業で紹介した目的と留意点についてまとめておくこと
第3回	精神科クリニックで心理検査を実施するという事 精神科病院で心理検査を実施するという事 教育現場で心理検査を実施するという事	事前学習	精神科クリニック、精神科病院、教育現場で心理検査を受けるとはどういうことなのかを各自考えておくこと
		事後学習	それぞれの実施場所における特徴と注意点についてまとめておくこと
第4回	心理検査法の種類とテストバッテリー、心理アセスメントについて	事前学習	テストバッテリー・心理アセスメントの意味を調べておくこと
		事後学習	授業で紹介した内容をまとめておくこと
第5回	心理検査法の実際1 エゴグラムの実施と分析 所見の	事前学習	エゴグラムについて調べておくこと

	書き方	事後学習	エゴグラムの実施、分析の仕方をまとめておくこと。自分なりの所見を書いておくこと
第6回	心理検査法の実際2 バウムテストの実施と分析 所見の書き方	事前学習	バウムテストについて調べておくこと
		事後学習	バウムテストの実施、分析の仕方をまとめておくこと。自分なりの所見を書いておくこと
第7回	心理検査法の実際3 SCTの実施と分析 所見の書き方	事前学習	SCTに記入をしておくこと
		事後学習	SCTの実施、分析の仕方をまとめておくこと。自分なりの所見を書いておくこと
第8回	心理検査法の実際4-1 ウェクスラー式知能検査の実施	事前学習	ウェクスラー式知能検査について調べておくこと
		事後学習	ウェクスラー検査の実施についてまとめておくこと
第9回	心理検査法の実際4-2 ウェクスラー式知能検査の分析	事前学習	分析ができるようにできるだけ実施を進めておくこと
		事後学習	分析の手順についてまとめておくこと
第10回	心理検査法の実際4-3 ウェクスラー式知能検査の所見の書き方	事前学習	所見が書けるようにできるだけ分析をしておくこと
		事後学習	自分なりの所見を書いてまとめておくこと
第11回	心理検査の実際5-1 PFスタディの実施と分析	事前学習	PFスタディについて調べておくこと
		事後学習	PFスタディの実施を終わらせておくこと
第12回	理検査の実際5-2 PFスタディの分析と所見	事前学習	PFスタディの分析を終わらせておくこと
		事後学習	自分なりの所見を書いてみる
第13回	心理検査の実際6-1 ロールシャッハテスト(名大法)の実施とスコアリング	事前学習	ロールシャッハテストについて調べておくこと
		事後学習	ロールシャッハテストの実施の仕方、スコアリングの仕方をまとめておくこと
第14回	心理検査の実際6-2 ロールシャッハテスト(名大法)の分析と結果の返し方 事例を参考に	事前学習	ロールシャッハテストの分析の仕方を調べておくこと
		事後学習	事例を参考に、分析と結果の返し方をまとめておくこと
第15回	総合所見の書き方と結果の返し方	事前学習	これまでの心理検査についてまとめておくこと
		事後学習	対象者別に文書として総合所見を書いてみる